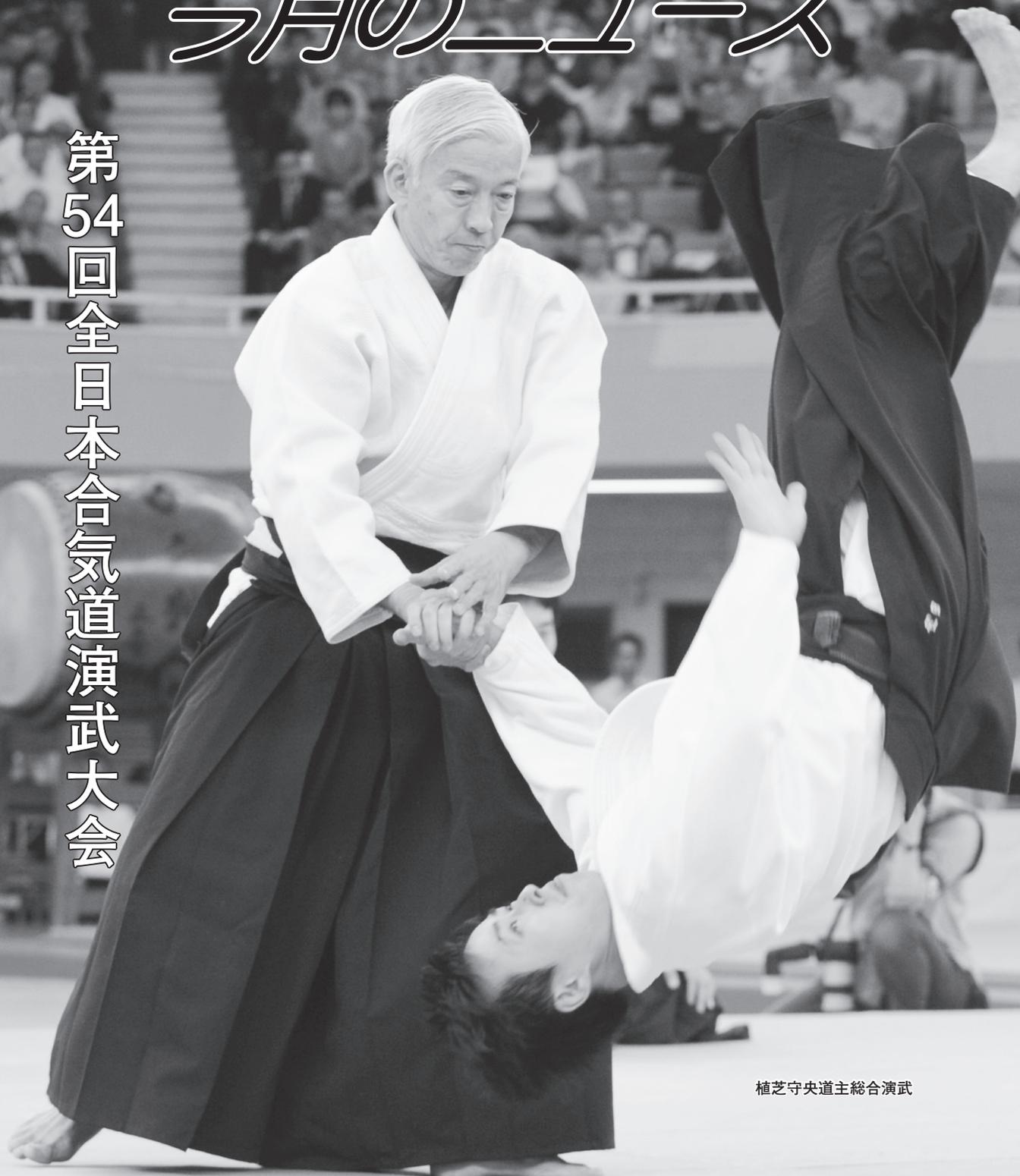


BUDŌ

NEWS

今月のニュース

第54回全日本合気道演武大会



植芝守央道主総合演武



植芝守央道主による総合演武

第54回全日本合気道演武大会

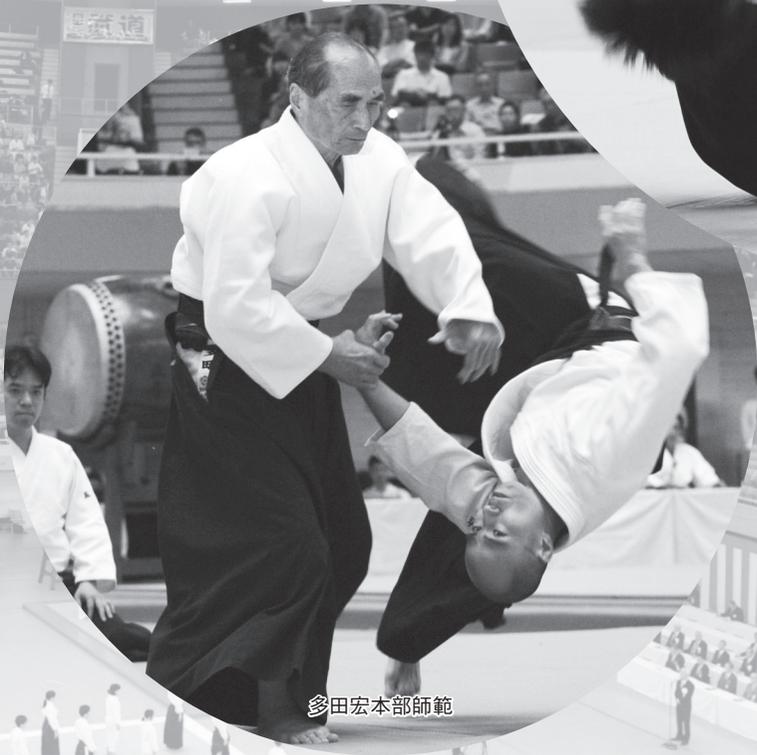
綿綿と広がり続ける 和合の心

国内外から 7900 名参加

2016. 7 月刊「武道」



植芝充央道場長



田宏本部師範

第54回全日本合気道演武大会（主催Ⅱ合気会）が5月28日、日本武道館にて演武者約7900名、観客とあわせおよそ1万人が来場し、盛大に開催された。

開会式に先立ち、4月に発生した熊本地震での犠牲者に対し黙禱が捧げられた。また大会中、西口ロビーでは熊本への義援金拠出のため、募金活動が行われた。

開会式では、国歌斉唱の後、可児晋大会副会長・合気会理事が開会の辞を述べ、次に植芝守央大会会長・合気道道主が主催者挨拶を行った。

「この大会は、およそ8000名が一堂に集まり、日頃の稽古の成果を発揮する合気会最大の大会です。現在、合気道は、世界130カ国以上にその輪が広がっています。その要因の一つには本大会を着実に行ってきたことだと思えます。本日、演武者の皆様には、開祖植芝盛平をはじめ、先達が合気道の普及に尽力されたことに感謝しながら、正しい合気道を認識して演武に臨んでください」

次に、来賓として松永光日本武道館会長が祝辞を述べた。

「合気道がすべての人々にますます

本部道場指導部

師範による自由演武



鳥海幸一本部道場師範



安野正敏本部道場師範



難波弘之本部道場師範



佐々木貞樹本部道場師範



桂田英路本部道場師範



小林幸光本部道場師範



栗林孝典本部道場師範



菅原繁本部道場師範

愛され、より発展することを祈念いたします。本日、皆さんが見事な演武を披露され、今後も合気道を正しく伝えていくことを期待いたします」

同じく来賓として奥田幹生日本武道館常任理事、山谷えり子参議院議員・前国務大臣・合気会理事、武正公一衆議院議員・埼玉県合気道連盟会長、浅尾慶一郎衆議院議員、島村大参議院議員がそれぞれ挨拶。続いて、高村正彦自民党副総裁・武道議員連盟会長の祝電披露の後、来賓が紹介された。

演武会は、関東学生合気道連盟の演武から開始。大道場を5つの演武場に分け、演武時間は各団体1分半で一度に最大5団体が演武を行い、各団体はきびきびと入退場を繰り返して大会は進行した。第1部の締めくくりは植芝充央道場長。立ち技、多人数掛けを披露し、場内から大きな拍手が送られた。

登録道場、社会人団体、学生団体、海外道場からの演武者たちは日頃の成果を発揮すべく、各々の技量による精一杯の演武を行った。待機場では、緊張し顔が強張っている者、動作手順を確認する者、談笑する者な



関昭二本部道場師範



遠藤征四郎本部道場師範

入江嘉信本部道場師範



森智洋本部道場師範



伊藤眞本部道場師範



藤巻宏本部道場師範



大澤勇人本部道場師範



金澤威本部道場師範



桜井寛幸本部道場師範

最終演武直前となると、その場内の高揚感は個々の胸の内に留められ、道場は水を打ったかのような静寂に包まれた。そして大会最後の演武となる植芝守央合気道道主による総合演武が始まった。立ち技、座り技、半身半立ち技、太刀取り、杖取り、多人数掛けと開祖から綿綿と受け継がれる数々の技を披露。演武が終了すると、観客席から万雷の拍手が送られ続けた。

和合の心を余すところなく発揮した第54回全日本合気道演武大会は、古藤昇司大会副会長・合気会専務理事による閉会の辞で終了した。

ど様々。しかし演武終了後には、みな一様に、息が上がりながらも互いの演武を誉め称え、笑みをこぼしい退場を行った。

本部道場の少年部による元気溢れる演武の後、合気会本部道場師範による自由演武へと移り、大会は終盤に差し掛かる。師範による合気道の技法に観客は魅せられ、場内の熱気は徐々に上がっていく。自由演武の掉尾は多田宏本部師範が円熟した多人数掛け、杖取りを披露し、会場は感嘆のため息で満たされた。



菅沼守人合気道祥平塾道場長



小林保雄合気道小林道場総師範



窪田育弘奈良合気会師範



堀井悦二相生會師範



尾崎响大田区合気道会師範

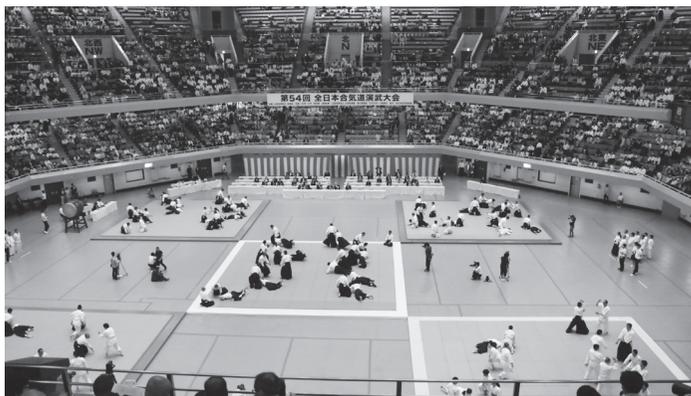


稲垣繁實茨城支部道場師範

各道場師範演武

登録道場・社会人団体・学生団体





参加者の声

◎枝久保達夫さん(合気道大宮道場)



「出場回数は今回で30回を越えました。今回の大会でも、普段やっていた稽古をそのまま演武する、それに つきます。日々稽古を積み重ねることこそが次の段階に至る道だと思っ ていますので、今後も皆と楽しく稽古を行っていききたいですね」

◎渥美凱斗君(土井道場)



「15歳です。合気道を始めて約2年です。学校でいじめられていて、相手を見返してやろうと思いい、合気道を始めました。当面の目標としては初段をとることです。今後とも頑張りたいです」

◎今崎正敏さん(桜台合気道クラブ)



「合気道を始めて40年、この大会はおよそ20年前から一度も欠かさず参加しております。この大会とともに夏に日本武道館で開催されます少年少女武道錬成大会についても、桜台として続けて参加したいと思います」

◎高見有加さん(合気道凱風館)



「合気道を始めて6年が経ち、この大会は5回目の出場です。まだまだ少ない回数しか出場しておりませんが、今後も今まで同様に合気道を続けられるよう、日々稽古に邁進したいと思います」

◎香島光希君(椿森中学校合気道部)



「合気道を始めて今年で3年目です。中学の合気道部ではこの大会が最後となりました。高校でも合気道を続けたいですね。中学校の体育では武道は柔道をやりました。あまり戦うのは好きではないので、授業でも合気道をやりたかったです」

好評発売中

漫画家・
別府大学教授

田代しんたろう 著

マンガ・武道の偉人たち

武道の基礎を築いた偉人たちの生涯を描く！

マンガ・武道の偉人たち

田代しんたろう



日本武道館

B5判・302頁・本体1000円＋税

月刊「武道」誌上で好評連載中の「マンガ・武道のすすめ」。

人気を博した「武道の偉人」シリーズが単行本化！

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・少林寺拳法・なぎなた・銃剣道の現代武道9道の普及・発展に尽力した偉人たちの生涯を通じて、各道の歴史をひも解きます。

大人も子供も楽しく読んで、歴史も学べる武道教養マンガ。



収録偉人一覧

嘉納治五郎(柔道) 高野佐三郎(剣道) 阿波研造(弓道) 双葉山(相撲)
船越義珍(空手道) 植芝盛平(合気道) 宗道臣(少林寺拳法)
園部秀雄と美田村千代(なぎなた) 鷗沢尚信(銃剣道)

編集・発行 公益財団法人日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

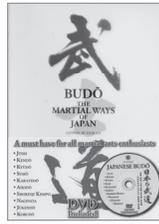
日本武道館発行の単行本



日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集:アレキサンダー・ベネット

(B5判・上製・DVD付・336頁)



武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

(四六判・上製・410頁)



大先輩に聞く

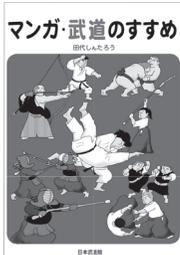
月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

(四六判・上製・376頁)

マンガ・武道のすすめ

漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著



(B5判・236頁)

月刊「武道」誌上で好評連載中の「マンガ・武道のすすめ」を単行本化！
柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・少林寺拳法・なぎなた・
銃剣道・古武道の各先生方に毎回直接インタビュー取材し、武道の良さ、
すばらしさをおもしろく、わかりやすく、描いています。
大人も子どもも読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。

合気道は4話を掲載！



多田宏先生



磯山博先生



菅沼守人先生



東北大学学友会合気道部

第38回全日本高齢者武道大会

老いは剣で迎えうつべし！



剣道・内閣総理大臣賞争奪戦＝宮崎克己（右）が二本目の小手を決め優勝



開会式

55歳以上の高齢剣士が剣道、銃道の覇を競う第38回全日本高齢者武道大会（主催Ⅱ全国老人福祉助成会）が6月6日、日本武道館で開催された。

大会には、北は北海道から南は沖縄まで36都道府県の高齢剣士674名が集まり、年齢を感じさせない白熱した試合が繰り広げられた。また、会場の至る所で、再会を喜び合った。互いの健闘を称え合う選手の間、和やかな様子が多く見られた。

大会の開会式では、開会宣言、国歌斉唱に続いて、昨年大会に出場された剣士の冥福を祈り、黙禱が捧げられた。次に、大会会長の全国老人福祉助成会・成元善一理事長、全日本高齢剣友会・岩立三郎会長が挨拶を行った。来賓祝辞に続いて、88歳以上の男性剣士と80歳以上の女性剣士の計26名の功労者顕彰があり、審判長挨拶を挟んで、黒木昊選手（東京）が選手宣誓を行った。

開会式後、日本剣道形、居合、銃剣道の形が披露され、13の会場に分かれて、試合が行われた。

剣道

■内閣総理大臣賞争奪戦

内閣総理大臣賞争奪戦は、寿A組優勝の宮崎、寿B組優勝の大西で争われた。大西は宮崎に鋭い胴を決めて先制するも、宮崎も負けじと小手を取り返す。それから互いに攻め合う展開の中、宮崎が2本目の小手を決め勝利。宮崎が2年連続で内閣総理大臣賞の栄冠に輝いた。

◎内閣総理大臣賞・寿A組優勝Ⅱ

宮崎克己選手（福岡）



「膝の調子が悪くてなかなか稽古ができなかったんですけど、優勝することが出来て非常に嬉しいです。内閣総理大臣賞戦の大西選手は年下の選手だから、勝ち負けは考えずに思い切りやろうと思っていました。3連覇については考えていません。来年も元気にこの大会に出場できるように頑張りたいと思います」

■寿A組（85歳以上）

剣道の寿A組（85歳以上）では、宮崎克己（福岡）が市成義治（神奈川県）から小手を奪い、勝利した。

■寿B組（80歳以上）

剣道の寿B組（80歳以上）では大西三郎（北海道）が西村壽雄（栃木）に胴を決めて、優勝。

◎寿B組優勝Ⅱ大西三郎選手（北海道）



「今日は、団体戦も個人戦もなかなか技が決まらなかったんです。積極的な自分の技に自信を持って切り替えたら、決まるようになって優勝出来ました。剣道の一つの難しさというか、同じ一日の中でもそんなふうに変わるのだと改めて感じました。内閣総理大臣賞戦では宮崎選手の打ちの強さに負けました。そのあたりは自分自身も勉強しなければと反省しているところです。来年もまた挑戦したいと思っています」

■剣道男性団体戦

剣道男性団体戦は、東京都が北海道を破って8年ぶりの優勝を決めた。

◎剣道男性団体戦優勝Ⅱ竹松健選手（東京）

「一回戦からほとんど同点の試合ばかりだったのですが、チームワークの強さで決勝まで行けました。団体戦は、個人戦にも出ているとつらいですね。決勝の大西選手は綺麗な剣道をする相手で強かったです。剣道は79年やっていますが、不動心、打ちきるとか、分かっているにもかかわらずできませんね。それができると精神的な修行もしています」



男性団体戦決勝＝竹松（左）が面を決める

■女性個人戦

女子個人戦は団体戦でも優勝した佐々木敦美（岩手）が、試合中盤に奪った面のリードを守り抜いて優勝。

◎剣道女性団体戦・個人戦優勝Ⅱ 佐々木敦美選手（東京）

「団体戦決勝は私が先鋒で負けて、中堅、大將が取り返してくれたおかげで勝てたんですけど、私が足を引っ張ってしまいました。団体戦では気持ちで負けたので、個人戦では心が崩れないようにしました。決勝は、崩れないように、中心を取って攻めて攻めて、恥ずかしくない試合をしようと思いました」



女性個人戦決勝＝佐々木（左）が攻める

銃 剣 道

■銃剣道団体戦

銃剣道団体戦決勝は、北海道と昨年の覇者・愛知県の顔合わせ。試合は北海道が愛知県を3-0のスコアで降して、嬉しい初優勝を決めた。

■銃剣道A組（75歳以上）

銃剣道A組（75歳以上）は、団体戦でも優勝した神村悦夫（北海道）が、大野実（埼玉）に上胴を2本決めて優勝。団体戦との2冠を達成した。

◎銃剣道団体戦・銃剣道A組優勝Ⅱ

神村悦夫選手（北海道）

「優勝旗を津軽海峡を越えて持ち帰ることができてうれしいです。この大会は全国から年に一回、集まった皆と会って、日本武道館で試合できるので楽しいです。大会には体が軽く限り出場が続けます。来年もチャレンジ精神で大会に臨みたいです」

■銃剣道B組（65歳〜74歳）

銃剣道B組（65歳〜74歳）は、小出秋夫（静岡）が福地正義（静岡）に上胴を決めて2連覇を果たした。

◎銃剣道B組優勝Ⅱ

小出秋夫選手（静岡）

「去年も幸いにして優勝しているんです。決勝の福地選手は同じ練習仲間で友達同士だから、決勝の前に相手の肩を叩いて目一杯来いって伝えました。大会前に練習不足でも、自信を持って試合に臨んでいます」

■銃剣道C組（55歳〜64歳）

銃剣道C組（55歳〜64歳）は、猪友一（新潟）が決勝で北村義宏（新潟）に勝利して、初出場で初優勝を果たした。

■銃剣道基本技

銃剣道基本技は、猪友一（新潟）

が決勝で山田道夫（栃木）に勝利して、見事C組との2冠に輝いた。

◎銃剣道C組・銃剣道基本技優勝Ⅱ

猪友一選手（新潟）

「初出場で優勝できるなんて考えていなかったのが感動しています。試合の方は欲がなくて、初出場だったので腕試しのつもりでした。それが結果的に力が入らず良かったのだと思います」



銃剣道A組決勝＝神村（左）が2本目の上胴を決める



銃剣道B組決勝＝小出（右）の上胴が福地を捉える



銃剣道基本技決勝＝猪（左）対山田



剣道女性団体戦優勝＝岩手県



剣道男性団体戦優勝＝東京都



試合後に互いの健闘を称え合う

大会結果

	組名	優 勝		準優勝	3 位
剣 道	寿 A (85歳以上)	内閣総理大臣賞 宮崎 克己 (福 岡)	宮崎 克己 (福 岡)	市成 義治 (神奈川)	林 学 (静 岡) 弘中 聖規 (山 口)
	寿 B (80歳～84歳)		大西 三郎 (北海道)	西村 壽雄 (栃 木)	宮内 正成 (広 島) 亀里 仁郎 (群 馬)
	特 (75歳～79歳)	岡本 守雄 (高 知)		青山為太郎 (静 岡)	高橋 守 (新 潟) 田部井 正 (群 馬)
	A (70歳～74歳)	加藤 隆幸 (神奈川)		美馬 勝行 (徳 島)	鈴木貫之助 (東 京) 中岡 和樹 (北海道)
	B (65歳～69歳)	小林 正人 (神奈川)		仁藤 雅夫 (山 形)	大都 堅 (埼 玉) 栗田 実 (茨 城)
	C (55歳～64歳)	小林 義周 (長 野)		金田 浩 (栃 木)	小野原完治 (埼 玉) 木村 隆 (長 野)
	男性団体	東京都		北海道	埼 玉 県 神奈川県
	女性個人戦	佐々木敦美 (岩 手)		星野 敬子 (神奈川)	大島 安子 (大 阪) 村上 久恵 (兵 庫)
	女性団体	岩手県		神奈川県	山形県 東京都
銃 剣 道	A (75歳以上)	神村 悦夫 (北海道)		大野 実 (埼 玉)	武田 康二 (青 森) 松浦 登二 (栃 木)
	B (65歳～74歳)	小出 秋夫 (静 岡)		福地 正義 (静 岡)	田口 金作 (青 森) 寺阪 清仁 (愛 知)
	C (55歳～64歳)	猪 友一 (新 潟)		北村 義宏 (新 潟)	柏木 彰彦 (東 京) 神谷 好美 (愛 知)
	基本技 (55歳以上)	猪 友一 (新 潟)		山田 道夫 (栃 木)	福地 正義 (静 岡) 寺田 信二 (愛 知)
	団体	北海道		愛知県	新潟県 静岡県

日本武道館の単行本

著者の80年の生涯にわたる 剣道修錬を集大成した 本格的剣道修行論

好評発売中!



全日本剣道連盟相談役・剣道範士九段

堀籠

敬藏 著

(四六判・上製・344頁)

剣の清流

目次

- 第一章 剣道
- 第二章 剣道の歴史
- 第三章 修錬・先人に学ぶ
- 第四章 剣道の極意
- 第五章 武道における「礼」
- 第六章 剣理
- 第七章 指導者としての心構え

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

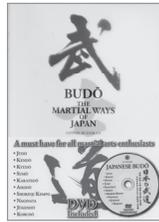
日本武道館発行の単行本



日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集:アレキサンダー・ベネット

(B5判・上製・DVD付・336頁)



高め合う剣道

筑波大学名誉教授

佐藤 成明 著

(四六判・上製・564頁)



刀剣の 歴史と思想

筑波大学大学院准教授

酒井 利信 著

(四六判・上製・346頁)



マンガ・ 武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

(B5判・並製・236頁)



武道における 身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

(四六判・上製・370頁)



禅の思想と剣術

北海道大学大学院教授

佐藤 錬太郎 著

(四六判・上製・386頁)



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

(四六判・上製・370頁)



人を育てる剣道

剣道範士八段

角 正武 著

(四六判・上製・268頁)



武道 過去・現在・未来

国際武道大学教授

田中 守 著

(四六判・上製・274頁)

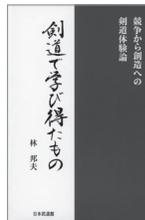


兵法家伝書に学ぶ

文教大学教授

加藤 純一 著

(四六判・上製・344頁)



剣道で 学び得たもの

中京大学教授

林 邦夫 著

(四六判・上製・298頁)



月刊「武道」は、全国の書店で販売しています。